

“痛み”押しつけ ガマンも限界

府政転換へ 高まる期待

4月9日投票の知事選挙。「格差」と貧困への不安。「小泉改革」への批判のなか、「くらしの痛みがわからない、いまの府政を続けるわけにはいかない」「府民と心かよう“あったか”府政を」と、府政転換への期待が高まっています。

知事がかわれば
暮らしはよくなります

くらし応援の あったか府政を



きぬがさようこ
衣笠 洋子

4.9

京都から憲法9条まもるメッセージを

衣笠洋子さんは、「くらしの目線」「府民のネットワーク」「憲法」をキーワードにした改革を提案。税金の使い方を府民の目線であらため、「子育て日本一の京都」「若者・女性が希望を持て、高齢者も障害者も安心して暮らせるまち」「京都のものづくりの力を発揮する府政」を、と訴えています。

ぜひお聞き下さい

日本共産党書記局長・参議院議員

市田 忠義さん来援

4月2日(日) 午後**4時**～
東大手筋



あたらしい
民主府政

府民本位の新しい民主府政をつくる会

京都市下京区河原町通五条上ル西橋詰町
メール minshufusei@kamogawa.seikyoku.ne.jp
ホームページ <http://minshufusei.jp/>

TEL:075-353-7055 FAX:075-353-6366

第681号 2006年3月23日 民主府政の会は、次の見解を発表しました。